



地元トマトでジャム

フクラム基金支援 西会津高生 開発第4弾



商品発表会に出席した(前列左から)相原さん、長谷川さん、薄町長、清野さん、佐藤さん

西会津町の西会津高魅力発信隊は、同町産のミニトマトを使ったジャム「とまそるたん ぷち」を開発した。来年1月31日に福島市

の県観光物産館で開かれる「ふくしまの未来を創るFukurum(フクラム)基金」支援事業の商品販売会で出品される。部長の長谷川真衣さん(3年)は「トマトの酸味と甘みのバランスが取れたジャムに仕上がった」と完成を喜ぶ。

魅力発信隊は、西会津町の魅力を町内外に発信する活動を通じ、町の活性化に

取り組む部活動。

新商品はFukurumカード推進協議会の「ふくしまの未来を創るFukurum基金」を活用し、開発した。

基金を活用した商品開発第4弾の今回は、町内の坂井農園で栽培されたミニトマト「キャロルムーン」の規格外商品などを使用し、南会津町の「土っ子田島farm」がジャムに加工した。添加物は使わず、トマト本来の甘みやグラニュー糖で味のバランスを調整した。ヨーグルトなどの乳製品との相性が良いという。

商品を開発した長谷川さんと同部の相原杏夏さん(3年)、佐藤なつみさん(2年)、清野結菜さん(同)は30日までに町役場を訪れ、薄友喜町長に新商品を紹介した。長谷川さんは「今後も町の特産品を活用し、町内外の人に手に取ってもらえる商品を開発したい」と話した。

▲12月31日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

なぜ
どうして
(Why)

「とまそるたん ぷち」、ぜひ味わってみたいですね!



「ジュニア窓」にとうこうしよう

福島民友投稿のページ「窓」に送る